

福岡中学校

「学校生活をより充実させるために、白石市で遊びたい、学びたい、動きたい」

発表者 毛利彩香さん(3年)、高橋優子さん、谷口輝大朗くん(2年)

学校生活をより充実させるために、白石市で遊びたい、学びたい、動きたいをテーマとして考えて見ました。

土地を市が購入して、映画館付きのデパートを誘致して若者も市内で休日を過ごせるようにしてほしいです。そうすれば、市内はもちろん市外からも若者が集まると思います。

木曜日以外にも、図書館の開館時間をもう少し延ばせないでしょうか。そして、周りの人を気にせず勉強ができるように個人スペースを設けられないでしょうか。

また、きやつするくに手すりや優先席(シルバースート)を設置してほしいです。そして、夏の季節だけでも、最終便の時刻を遅らせてほしいと思います。これにより、部活動や生徒会活動が思う存分できるようになります。

ところで、お願いばかりしていいのかな？ 私たちができることってあるのかな？ 今、学校で行っているあいさつ運動を市内中に広げてはどうでしょうか。本校では、この運動のおかげで学校全



▲福岡中学校の発表の様子。右から高橋さん、毛利さん

市長回答

本市では企業を誘致しようと頑張っています。また、図書館の開館時間については、来年4月から延長するように検討していきたいです。本もたくさん読んでいただきたい、次の世代に伝えていただきたい。

皆さんの中にも、昔読んだ小説などの本が蔵の中や押し入れの中にあるませんか。それを何とか利用できないでしょうか？ 子どものブックスタートがありますが、



▲博士役の谷口くん。趣向を凝らした説明で会場からは笑いが！

大人のブックスタートがあっても良いのかなと思います。白石では、大人になっても自由に本を読める場所がたくさんあると言われるようこれから考えていきたいと思っています。

きやつするくんですが、もう一度、市で混んでいる路線を調査してみます。きやつするくんは、座って乗ることが基本なのでお互いの助け合いで、譲りあえば優先席はいらないのではないのでしょうか。手すりの問題は、もう一度考えます。また、福岡便の最終バス時間についても、よく考えて見直しを検討します。



▶調整役の麻生菜穂美さん。中学生を巧みにリード！

白川中学校

「白川の自然や地域交流を生かしたスロウライフプラン」

発表者 大野一樹くん、岩倉泰孝くん、我妻ゆかりさん(1年)

白川の良いところや悪いところ、白川を日本一有名にするにはなど、さまざまな意見が出されました。

白川地区だけではありませんが、少子高齢化が進み、市でもいろいろな施策を行っていると聞いています。

そこで、現在、総合学習の一環である高齢者の皆さんとの交流を通じて、白川の自然や高齢者の持っている才知を有効活用して三世以上以上の家族が仲良く将来的にゆつたりとしたスロウライフを提案できればと考えました。

白川中学校50人の家族形態を調査した結果、祖父母と同居が25人50%、祖父と同居が1人2%、祖母と同居が8人16%、その他曾祖父母と同居が7人14%、核家族が9人18%、で白川地区では3世代4世代が同居する家庭の割合が非常に多いことが分かりました。

また、地域全体で子どもたちを健全に育てていこうという意識が強くなり、高齢者との交流の必要性を感じました。

ツリーハウスコンクールをまちのイベントとして開催してはどうでしょうか。世代を超えて家族が



▲白川中学校の発表の様子。右から我妻さん、岩倉くん、大野くん

市長回答

白川地区でこんなに三世代が同居している、うらやましいなと思いました。本当にありがたいことです。

本市の人口は減っていますが、世帯数は増えています。これは核家族が増えているということだと思います。皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんを大切にしてください。

一年生が、白川のことをこれだけ調べたことは素晴らしいことです。これからは素晴らしいことだと思います。おじいちゃん、おばあちゃんとの交流を大切にしてください。先人たちが受け継いだ行事を次の世代に引き継いでいってください。



要望ではない！ 提案がいっぱい！

すべての皆さんがものすごく一生懸命勉強してきたんだなと思いました。そして、大変素晴らしいのは、要望や要求ではない、提案であるということです。提案をして、自分たちもやるからやりませんかという提案でした。だから、今回は大変答えづらかったんです。単なる要望ではないのですから。でも、皆さんは本当に勉強して、地域や市全体のことを本気で考えて提案してくれました。

これからです。皆さんと一緒に素晴らしいまちを作っていきたいと思います。また、提案がありましたらいつでも聞きますので、ぜひ聞かせてください。

まちづくりはまちを愛すること！ 夢を持ち続けること！

中学生の皆さんの提案を聞いて、皆さんどう感じましたか？ 取材を通して感じたことは、皆さんが真剣に白石のことを思って考えてくれているということです。特に地域の特徴を生かした提案が多かったです。

私たちは、地域の活性化やまちづくりを考えると、新しいものをつくりたい、買ったりすること、を考えると、しかし、これからは地域の特産物や風土などを活用して、今あるものをどのように生かしていくかということをあらためて考えさせられました。

そして、その実現のために一番大切なことは、地域の皆さん一人ひとりが地域を愛して、まちづくりの夢を持つことであると、中学生の皆さんから教えられました。大人も子どもも、まちを愛する心とまちづくりの夢を持ち続けて、すてきな城下町に磨きを掛けていきましょう！